



CONTENTS

「感染症対策と人権への配慮」.....	01
ぶれいす東京と関連サイトのリニューアル！.....	02
ぶれいす東京 第9回総会・活動報告会.....	04
HIV陽性者と周囲の人への相談事業（厚生労働省委託）...	06
第1回 Tokyo Pride Festival.....	07
NLGR (Nagoya Lesbian & Gay Revolution)2009 ...	08
部門報告（2009年4～6月）.....	08
新人ボランティア合同研修	
オリエンテーションのご案内.....	12

「感染症対策と人権への配慮」

樽井 正義

人を大切にする、それはどの社会、どの文化にも共有されている倫理のおおもとです。でも、大切にすることはどうすることなのでしょう。大切に仕方をそれぞれの場面ごとに整理する、たとえば思想信条の自由、教育を受ける権利というように。それが人権と呼ばれるものです。こうした整理は、近代の西欧で始められたことです。人の長い歴史にとってはつい最近、それも地球上のほんの一地域でのことです。しかしいまでは、国連の世界人権宣言や私たちの憲法が示すように、世界に広く受け容れられています。また、人をもっと大切にする仕方の追求は、いまでも、これからも続けられます。たとえばプライバシーの権利、これが私たちの社会で認められるようになったのは50年前のことであり、個人情報の保護が法律にされたのはつい数年前のことです。

HIVに関わっていると、人権という言葉によくお目にかかります。実際にこの二つ、公衆衛生上の感染症対策と人権の擁護とは、切り離すことのできない関係にあります。しかしそうであることが広く受け容れられるまでには、この疾患の場合も、流行の始まりから10年以上の歳月が必要でした。国連合同エイズ計画（UNAIDS）が設立されて最初の仕事の一つ、国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）とともに「HIV/AIDSと人権 国際ガイドライン」を策定したのは1996年、日本で「エイズ予防法」が廃止されて前文に人権尊重を唱った「感染症新法」が施行されたのは99年のことです。

感染症が広がろうとすると求められるのは、その病気について正確な情報が周知され、だれにも可能な予防策が勧められることでしょう。ところがありがちなのは、病気の怖さが強調され、感染者を探し出して遠ざけることに力が注がれ、「怖い感染者」という偏ったイメージがつくられることです。怖い人と指さされるのはいやなこと。だから感染の疑いがあっても、医療機関で検査

を受けて、わざわざ指さされようとはせずに、じっと身を潜めることが選べれます。こうして、感染は自覚されずに広がることになります。

1千万人をはるかに超える人の感染という、あまりにも大きな代償を払ったあとでようやく、VCTと呼ばれる検査環境が整えられるようになりました。検査は強いられることなく受けたいと思う人が受ける、予防の情報が適切に提供される、プライバシーが守られる、そして必要であれば治療につながられる。検査を受ける人の人権に配慮し、受けやすい環境を整えること、それが予防を促進する最善の公衆衛生政策なのです。これはどれだけ強調してもしすぎることはありません。

HIV対策で人権への配慮がとくに要請されるのには、もう一つ大きな理由があります。世界のどこでも、感染のリスクに直面させられているのは、女性と子ども、そしてセックスワーカーとその顧客、男性とセックスする男性、注射薬物使用者、外国人労働者などです。この人たちはまた、社会で他の人よりも弱い立場に置かれてもいます。つまり、人権に必要な配慮が払われていない人たちでもあります。

このなかには、少なからぬ国で犯罪者とされている人たちがおり、したがって人権が狭められるのは当然だ、という意見が聞かれることもあります。しかしたとえ犯罪者であっても、擁護されてしかるべき人権はいくらもあります。その代表は健康に生きる権利です。たとえば超過滞在の外国人にも、予防の情報が適切に届けられること、必要であれば、健康保険がなくとも診療が行われること、それはあたりまえのことです。とくに感染症治療と救急医療は、無条件にだれにでも提供される、それが人権への最低限の配慮です。

ふれいす東京と関連サイトのリニューアル！

ふれいす東京のウェブサイトが8年ぶりに全面リニューアルをしました。また、「地域におけるHIV陽性者等支援のためのウェブサイト」や、「HIVマップ」などのエイズ予防のための戦略研究（MSM首都圏グループ）のサイト、Gay Friends for AIDSの新サイト、携帯サイトのスタートなど大きく変貌しています。

「ふれいすウェブサイト工事記」

p-website 大槻 知子

団体設立15周年を迎えた今年、ふれいす東京のウェブサイトを全面的にリニューアルしました。

一番のテーマはアクセシビリティの改善です。さまざまな通信環境の中で情報を必要としている人に対し、このサイトが見えやすく、情報が届きやすくするにはどうしたらいいか。「HIVマップ」など検索エンジン最適化（SEO）対策で先行している協働サイトとのつながりを強化し、相乗的な可視化を図っています。サイト内でも、たとえば「HIV陽性とわかったばかりの人へ」というコンテンツでは、サイト内外にあるより詳しい情報ページに必要な応じて簡単に飛べるような導線を確認しつつ、陽性告知を受けたばかりの時にまず知ってもらいたいエッセンスだけをまとめて紹介しています。携帯版サイトも新たに用意しました。

デザインとユーザビリティにもこだわりました。これまでもふれいす東京のパンフレットや冊子などのデザインをたくさん作ってくれた新藤岳史さんにデザインづくりをお願いしました。一方、人員と予算が限られている中、どんなに凝ったサイトを構築してもらっても、今後自分たちで管理更新できなければ意味がありません。Web制作会社とは、新藤さんのデザインをもとに、管理しやすいサイト構成や運用可能なシステムの導入についてひとつひとつ相談しながらデータのコーディング作業を進めました。

デザインやサーバー管理ひとつとっても、たくさんの人の協力があって成り立っているサイトです。今回のリニューアルに際しても、サイト上での活動の紹介の仕方など文言ひとつひとつから団体内での丁寧な意思決定プ

ロセスを経ていく中で、ふれいす東京がどんなにたくさんの人がかかわってまわっている組織なのか、どれだけの努力が積み重なって続いている活動なのか、あらためて見てきたものもあります。

はらださん・やじまさんとWeb担当スタッフ3人による最初のミーティングが行われた2008年2月から1年半、制作会社とやり取りしてきた480枚のFAXシートを見ると軽い虚脱状態になりますが、いよいよサイトをリニューアルしてそれでおしまいではありません。Webの特性であるフレキシビリティを生かし、今後もよりよいサイトへと育てていきたいので、ご意見や感想があればぜひお聞かせください。すでに新コンテンツも準備中です。

地域におけるHIV陽性者等支援のためのウェブサイト

「双方向に支援するサイト作り」制作営業担当 桜井 啓介

ウェブサイトの制作会社とか管理会社というと、皆様どんなイメージでしょうか。

現在、厚生労働省の研究班である地域支援班サイトの更新作業や管理を担当しております私の職場は、一般的な企業ではございません。今では他法人与自然と合併して名前が変わっていますが、もともと障害者就労福祉センターとして、障害を持つ方や様々な理由で企業就労が困難な方の支援を行っている団体です。地域支援班のサイトもそうした方が中心になって作業しています。

地域で人を支えるというのは私たちのセンターの活動ともリンクしており、作業も人々や社会のためになるサイト制作に意欲を見せてくれています。また、私たちは障害者就労を扱うセンターとはいえ内部障害の方はほとんどいないのですが、今後のためにも組織内での理解を深めてもらえるきっかけになれば、とも考えています。

ふれいす東京とは

- 活動のあらまし
- 部門の紹介
- 活動のあゆみ
- 個人情報について

事業とサービスについて

- HIV陽性者とその周囲の人の支援
- HIV感染不安の相談
- 予防接種
- 検体送達・検体
- 研究
- 情報提供

刊行物

- ニュースレター
- 冊子・活動報告書

ボランティアをするには

寄付のおねがい

お知らせ

8/10 更新しました。

リンク

プライバシーポリシー

お問い合わせ

特定非営利活動法人 ふれいす東京
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-22-46 ザ・テラス204
TEL: 03-3361-8964 (平日12~19時) FAX: 03-3361-8935
メールアドレス: info@ptokyo.com (☆を☆にかえてください)

お知らせ

9/13〜 新人ボランティア合同研修・オリエンテーションのご案内

8/28〜 感染を知ったばかりの人のためのプログラム「HIV陽性者ピア・グループ・ミーティング(PHG)」参加者受付中(8/15〜8/27)

8/18〜19 夏期休業のお知らせ

7/11〜18/20 第2回日本エイズ学会学術集会(11/26〜28)「HIV陽性者参加支援ネットワーク」のお知らせ

5/30 特定非営利活動法人ふれいす東京 2008年度活動報告会のご案内

※ 過去のお知らせはこちら

窓口一覧

HIV陽性者とその周囲の人のための電話相談(厚生労働省委託事業)	0120-02-8341	(月〜土13~20時)
対象年齢サービス(若年HIV陽性者とその周囲の人向け)	03-3361-8964	(平日12~19時)
感染を知ったばかりの人のためのプログラム「HIV陽性者ピア・グループ・ミーティング(PHG)」	03-3361-8964	問い合わせ・申し込み(月〜土12~19時)
HIV感染不安の電話相談	03-3361-8909	(日13~17時)
ゲイによるゲイのためのHIVエイズ電話相談	03-5386-1575	(土13~21時)

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 ふれいす東京
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-22-46 ザ・テラス204
TEL: 03-3361-8964 (平日12~19時) FAX: 03-3361-8935
メールアドレス: info@ptokyo.com (☆を☆にかえてください)

協賛/協力

MSM首都圏グループ
エイズ予防センター
HIV陽性者等支援のためのウェブサイト

WEB NEST
Copyright © 2008 All Rights Reserved.

ふれいす東京ウェブサイト: <http://www.ptokyo.com/>
携帯版: <http://www.ptokyo.com/mobile/>

地域における HIV 陽性者等支援のためのウェブサイト

文字サイズ 小 **大**

当サイトに
ついて

当サイトの目的
利用方法について

リソース

ツール
研究報告書
お役立ち資料

トピックス

2008.04.07
「生活と社会活動に関する調査」
病院で誤差を捉え取った管理へ

2008.01.21
研究発表会「HIV陽性者と社会生活」

2008.11.20
研究発表会
「HIV陽性者からHIV陽性者の間にある支援ニーズとその課題」

運営者について

サイトマップ

プライバシーポリシー

リンク

お問い合わせ先

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-22-46 ザ・テラス204
特定非営利活動法人ふれいす東京「地域におけるHIV陽性者等支援のための研究班」事務局
TEL: 03-3361-8964 (平日12~19時) FAX: 03-3361-8935
MAIL: kanryu-jimu@gmail.com (☆を☆にかえてください)

このウェブサイトは、厚生労働省研究費補助金エイズ対策研究事業「地域におけるHIV陽性者等支援のための研究班」により運営されています。
Copyright 2008 - 2009 地域におけるHIV陽性者等支援のための研究班. All rights reserved.

地域におけるHIV陽性者等支援のためのウェブサイト
<http://www.chiiki-shien.jp/>

貴重な機会をいただけたと思っています。

さて、ここまでで、「それはいいけど今の組織名は何なの？」と思われた方もいらっしゃるかもしれません。こちらは是非、ウェブサイト上で確かめください。

エイズ予防のための戦略研究 (MSM首都圏グループ)のサイト

最近、HIVマップのトップが大きく変わったのにお気づきですか？ 2つの新しいコンテンツと兄弟サイトができました。

1つ目に「HIV/エイズガイド」です。こちらは、人気イラストレーター児雷也さんが描く「ブリくん」が、専門家に会って話を聞き対話で基礎知識を伝えます。早速、ゲイ向けのお悩み掲示板で利用者がこの「ガイド」を紹介してくれるなど、想像をしなかった広がりを見せています。

「ゲイ・バイセクシャルにやさしいあんしんHIV検査サーチ」という、よく考えてみると大胆な名前のコンテンツも登場しました。こちらは戦略と協力関係にある、首都圏のMSMに準備のある検査場を紹介しています。

兄弟サイト「MEN-Doキャンペーン」サイトも同時に開始しました。調査は実施されたけれど、協力した当の回

答者のみなさんに結果をお返りする媒体がなかったことの反省から生まれました。今年の携帯電話アンケートについても順次紹介していきます。

HIVマップは、自分で直接利用できる情報を探し出せなかった経験を振り返り、MSMにとって支援的な情報を得られる場をweb上につくることをコンセプトに始動しました。新コンテンツがHIVをめぐる難しさに直面した人たちに利用してもらえることを願います。(岩橋)

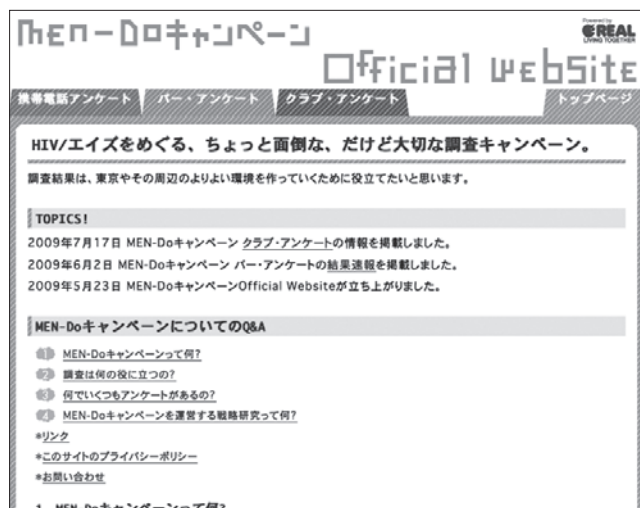
Gay Friends For AIDSサイトリニューアル

Gay Friends for AIDSのサイトも、長らく懸案であったリニューアル作業を進めています。Gフレのサイトは各種イベントや新しく刊行した冊子についてのお知らせなど、告知に関する内容をよりスピーディーに発信できるよう、サイトデザインと共に運営体制も見直してのリニューアルとなります。

デザインは、ぷれいす東京の新しいサイトのブルーに対して、ライトグリーンを基調にしたポップな仕上がりになります。コンテンツも順次オープンしていきますのでぜひチェックしてみてください。(sakura)



HIV/エイズガイド
<http://www.hiv-map.net/guide/>



MEN-Doキャンペーン
<http://www.real-it.net/survey/>



あんしんHIV検査サーチ
<http://www.hiv-map.net/anshin/>



Gay Friends for AIDSのサイト
<http://gf.ptokyo.com/>

携帯サイトが充実しています！

ぶれいす東京のサイトリニューアルにともない携帯版がオープンし、より多くの人に利用していただけるようになりました。また、ネストの案内やプログラムを紹介する携帯サイト [mobile NEST] も web NEST を補完すべく加わりました。[HIVマップ mobile] には、従来の [HIV お役立ちナビ] だけでなく、[ゲイ・バイセクシャルにやさしい あんしん HIV検査サーチ] が加わりいっそう充実した内容になりました。

携帯電話からも、ぶれいす東京やネスト、HIV に関する様々な情報を見ることができるようになりました。いままでは利用できなかったかたも是非ご覧ください。(矢島)



ぶれいす東京携帯版
<http://www.ptokyo.com/mobile/>



HIVマップmobile
<http://www.hiv-map.net/mobile/>



mobile NEST
<http://web-nest.ptokyo.com/mobile/>

ぶれいす東京 第9回総会・活動報告会

ぶれいす東京の総会・活動報告会が、5月30日に豊島区立生活産業プラザにて開催されました。参加者、スタッフ合わせて73名で会場はほぼ満員、今年も盛会でした。

肅々と行われた総会のあと、10分の休憩をはさんで活動報告会が行われました。恒例の部門報告は、7部門17名が入れ替わり立ち替わりの報告をし、限られた時間の中で気合いとリアリティの溢れる濃い報告となりました。

後半はゲストのトークコーナー。岩本愛吉さん（東京大学医科学研究所教授／厚生労働省エイズ動向委員会委員長）にご登場いただきました。「岩本愛吉の岩本愛吉的ところ」と題して、とても個人的なことからグローバルで視野の広い話まで、自由闊達にお話しいただきました。その人柄や真摯な姿勢と豊富な話題を満載しての興味深かつ楽しい時間となりました。

以下、活動報告会に参加されていた方々の中から、5名の感想文をお届けします。(矢島)

参加者感想文

「はじめての報告会」

あい

私がぶれいすに参加するようになったのは去年の新人研修からであり、年間報告会はこの日が初めてでした。

報告会では各部門の報告や岩本愛吉先生のお話などがあり、普段の活動やぶれいすの全体像、そして世界の中での日本における HIV/AIDS問題を客観的に見ることができたように思います。

報告会にはぶれいす以外の方もたくさんいらっており、ただでさえ新人でぶれいす内でも知り合いの少ない私は、少し場違いな気がして「どうしよう…」と怯えていましたが、同期や先輩の方とご挨拶したりすると自然と心が和みました。正直、日々の活動は決して「楽しい」と言えるものではありません。例えば電話相談では、電話のベルが鳴るたびに緊張してしまいますし、難しい質問に対してやりがいを感じ



ホットライン部門の報告

てはいるものの、うまく答えられない自分が嫌になることも多々あります。それでもぶれいすの事務所を出ると不思議と「今日も来てよかったな」と毎回思えるのです。活動を始めて8ヶ月経った今、「これからも続けて行きたい」と思えるのは、こうした周りの方々のおかげなのだ、と再確認することのできた報告会でした。

「若者とHIV・エイズ」

押川 あゆみ (wAds2009 共同代表)

この度は、ぶれいす東京の報告会に参加させていただきありがとうございました。日頃学生である私にとっては、とても貴重な機会で、考えさせられることが多々ありました。

私は、今までの学生生活のなかで、陽性者やセクシュアルマイノリティの方々のことを聞いたことがなく、日頃、彼らが何を感じ、何に生きづらさを感じているのかということを実感できない環境で育ってきました。今回報告会に参加して、「陽性者とかゲイとか周りにいない」そんな風に思って生きてきた、自分がとても恥ずかしくなりました。彼らがあるのままで生きることが出来ない環境を私たちが無意識に作っているのだとしたら、私たちの認識を変えていくことがまずは第一歩なのかもしれません。wAdsキャンペーンでも、陽性者やゲイの方などと一緒に生きていることを感じてもらう機会や、若者が壁を感じずにこの問題について学んだり、考えたりする場を作っていければと思います。

「ぶれいす東京 2008年度活動報告会に参加して」

東京都 福祉保健局 医療政策部 飯田 真美

2004年6月から2006年7月まで都のエイズ対策を担当し、この間、NPO、コミュニティ、陽性者、医療関係者、国などに支えられ、今でも目頭が熱くなる思い出も多い。今回の活動報告は、新たな業務との関連探しという感覚

で、興味深く拝聴させて頂いた。

第一部の活動報告は、発表者が変わる毎、それぞれの個性と熱意を感じた。政治、経済、医療、社会保障などへ不安の多い社会背景を反映し、活動内容の多様化、複雑化に伴う苦労を感じた。活動の継続、維持でさえも敬服に値するのに、活動の幅や深さ、ネットワークの裾野を広げ、進化していることは頼もしく感じた。このパワーはどこから生まれるのか？

第二部の岩本先生のトークには、アジアの課題、薬物対策との連携の必要性を考えさせられた。岩本先生のエイズ・感染症への熱さはどこから沸いてくるのか？



「岩本愛吉的ところ」

パワーや熱さを頂き、現在担当している周産期医療と重ね合わせ、医療体制の整備や療養支援には、コミュニケーション、ネットワークの裾野を広げる必要性を改めて痛感した。

活動報告会、本当にお疲れ様でした。今後の活動にも、期待しています。

「初めての参加」

厚生労働省健康局疾病対策課エイズ医療・調査係長 円谷 高史

初めて参加させていただきました。

最初の印象は、多数の報告者、視聴者が参加し活気がある、そしてその誰もが自然体で、生き生きしているように感じました。誰もが当たり前に（誰もが偏見・差別等の束縛を受けずに）前向きに生活できるよう、誇りを持って活動をしているのだと感じました。

私の現在の職務は「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」に書かれた考え方をより分かりやすく国民の方々に伝え、納得してもらい、HIV・エイズ予防の取り組みを実施していくことです。そして、日本における新規HIV感染を減らし、陽性者の方もそうでない方も自然に生活のできるようにしていくことです。

今回お聞きした、研究事業、ホットライン、ネスト、陽性者や周囲の人への相談サービスなどの活動報告は、行政でHIV・エイズ予防対策を行っている自分にとって、現場の生の声に触れるよい機会となりました。行政のみで事業を行うことは難しく、戦略研究等の研究班やNPO、NGOなどと協力して対策を進めていくことが重要であると感じました。

特にHIV陽性者の方のケアに対しては、今までの生活の中で体験したことのないことであり、今後とも、多くの方々にご相談しながら事業を進めていきたいと考えています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

「ぶれいす東京って例えると木なんですね」

岳

ぶれいす東京を利用させてもらって6年。普段は「実」の一部を美味しくいただいております、その「木」全体を眺め

た事はありません。今回の定期報告会はそのチャンスでありました。

開会時刻にはほぼ満席。1時間15分の発表はラッシュ時の鉄道ダイヤの様であり刻みの休憩なし。発表するほうも大変だが聞くほうも大変。ポイントを逃すまいと資料をめくりながら入れ替わり立つ発表者の生の声を必死に拾った。着々と進められている活動の報告から以下の3点が強く印象に残った。



総会は肅々と

①病院、保健所からの紹介案件の増加

「慎重」「堅実」な所からの案件の増加は「活動の品質と成果が認められた」と言う事だと思う。これで利用者数の増加がさらに加速するのだろう。

②電話相談でも深い情報提供が求められ、時には人生観そのものに関わる事などある

数字で報告される対応件数だけでなく、その対応内容の深さに注目したい。定型化された応答集だけで対応できる単純なものばかりではなく、十分に知識を持ち訓練された方であれば対応できないような深い内容にまで及ぶという事だ。短期間でそのスキルをつける事はむずかしい。人を支える事のできる人を育てている事を感じる。

③やはり人に恵まれている

今年の報告書の冒頭にある池上代表の挨拶は一風変わっている。この一年の活動がどうの…には一切触れず、活動を支えていたメンバーに対する思いがあふれている。「一人一人を大切にすること」が貫かれているからこそ書ける事だ。（恥ずかしながら「ぶれいす」の名前の意味を最近知りました）

今年度の目標について明言はなかったが、「大きく変わらねばならない年」とのこと。宮田理事の閉会の言葉にもあったが、世界同時不況、新型インフルエンザなどの新しい課題は世間のHIV/AIDSへの関心をさらに遠ざける状況がある。そんな状況で、高いレベルの活動内容を維持しつつ、増大するニーズに応えるべくスケールアップにも対応して行くのが今後のチャレンジなのだろう。

この木をあらためて見るに、どの部分もしっかりしていてまとまっている。そして静かに着実に成長を続けている。「HIVに感染してるけど自分らしく生きてるなあ…」と最近よく思う。どうもこの木の木の栄養なのかもしれない。



宮田理事より恒例？の閉会挨拶



HIV陽性者と周囲の人への相談事業（厚生労働省委託）

新ポジティブラインがスタート

やさしい
フリーダイヤル 0120-02-8341（月～土 13：00～20：00）

今年度より、厚生労働省の委託を受け、HIV陽性者の相談事業（エイズ患者等に対する社会的支援事業）をスタートしました。

専門家や市民の間での、HIV陽性者とともに生活しているという認識が十分でない日本の現状を踏まえると、長期に及ぶ、HIV陽性者の生活を地域から相談・支援をしていくことはとても重要です。

この事業では、以下4つを実施していく予定です。

- ①日本語による HIV陽性者や周囲の人専用相談ラインを公開。フリーダイヤルにて接続を可能にし、全国からのアクセスのしやすさを確保。
- ②在日外国人のための HIV/エイズ相談及び情報提供。
- ③HIV陽性者のためのグループ支援の情報収集。
- ④HIV陽性者や周囲の人を対象にした相談に従事する人のための実践的な研修。

■日本語による対面や電話による相談サービスの提供

ぶれいす東京の専任の相談員が、HIV陽性者・パートナー・家族のための電話相談（ポジティブライン）や、個室での面談に応じます。匿名での相談も可能です。

「ポジティブラインがフリーダイヤルになりました。」

ぶれいす東京 相談員 牧原

これまで、木曜日（11:00～14:00）と金曜日（17:00～20:00）で行っていたポジティブラインが、フリーダイヤルでつながるようになり、相談できる時間枠も月曜日～土曜日の13:00～20:00に拡大することになりました。このフリーダイヤルは日本全国から固定でも携帯でもつながります。相談できる対象はこれまでと変わらず HIV陽性者とその家族・パートナーなど周囲の方です。

フリーダイヤルの開設に伴い、電話での相談はこのフリーダイヤルにかけていただくこととなりますが、相談者の金銭的な負担を軽減し、電話がかけやすい環境になるのではと考えています。例えば、地方の方、入院中の方、携帯の方など、電話代が気になりなかなか相談しにくいと感じていた方、曜日限定でかけにくいと感じていた方にとって、電話がかけやすくなればと考えています。また、ネット環境がない方には、今回の開設で情報収集が少しでもやりやすくなればとも思っています。

ただし、まだ電話回線が1本しかありません。それゆえに、「話したいのになかなかつながらない」ということが起こるかもしれません。回線が増やせるように努めていきたいと思いますが、それまでの間、申し訳ないのですがつながらない時は根気よく、時間を置いてかけ直していただければと思います。

また、対面での相談はこれまでと同じく月～土の12:00～19:00で、陽性者とパートナー・家族など周囲の方に行っています。（対面予約は事務所電話、03-3361-8964をお願いします。）予約制ではありますが、フリーダイヤルと対面相談を上手く使い分けて、それぞれに活かしていただければと思います。

「やさしい気持ち…」

相談事業・事務担当 佐藤

立ち上げに際してのあれこれを依頼された時の命題は、「できる限り迅速に」そして「できる限り安く」でした。無理な話なのですが、そういう話に乗るのが僕の性分です。

相談事業なので、落ち着いて電話を受けられることが肝心。しかし決まった部屋に入った瞬間、言葉が出ないほど汚い…急がせたため床もボロボロ（失礼!）であった。待ち受けていたのはタイルカーペット貼り。でも今は便利ですね、ネットに工事の仕方まで載っていて、意外とらくちんでした。皆さんに「業者さんがやったのかと思った」と言われると、頑張った甲斐があります。

家具類を選ぶのは、何だか自分の買い物をしている気分でした。カタログやネットをあちこちと探しまわり、デザイン性のある程度重視しながらも、1円でも安いものを探す。いつもの庶民感覚がとても役に立ちました…。

それとフリーダイヤルの番号選び。こういうことが大好きです。覚えやすく、親しみやすい番号が良いと思い、いろいろと考えましたが、最終的に「やさしい」が選ばれました。イメージって大切だと思うのです。

裏方としては、とてもどたばたとしていて、十分にはできませんでしたが、自分がお手伝いをさせて頂いたことで、一層思い入れが強くなりました。あとはひとりひとりに丁寧な相談をすることで、陽性者とその周囲の方々に、ぶれいす東京・専任スタッフの「やさしい」気持ち伝わり、お力になれると嬉しいです。

■在日外国人のためのHIV/エイズ相談及び情報提供

3つの NGO との連携により実施します。

団体名	(特活)クリアティーボス・HIV/STD関連支援センター	(特活)CHARM (チャーム)	(特活)シェア＝国際保健協力市民の会
受付言語	日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語	日本語・英語	日本語・英語
支援言語	日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語	日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語・フィリピン語	日本語・英語・タイ語 *その他の言語はご相談ください
相談形態	電話相談・個別相談・グループミーティング	個別相談	個別相談
曜日/時間	月/水 10:00～19:00	月～木 10:00～17:00	月～金 10:00～17:00
連絡先	045 (361) 3092 e-mail: elisaai@beige.ocn.ne.jp	06 (6354) 5901 e-mail: office@charmjapan.com	050 (3424) 0195 (直通) 03 (5807) 7581 (代表)
相談内容	①HIV情報提供と相談 ②母国情報の提供 ③医療通訳派遣(調整) ④社会資源活用サポート ⑤生活支援 ※サービスの内容は、団体により異なる場合があります。直接ご確認ください。		

第1回 Tokyo Pride Festival

第1回東京プライドフェスティバル(主催:東京プライド)が5月23日に代々木公園イベント広場で行われ、「エイズ予防のための戦略研究 MSM首都圏グループ」がブースを出展するとともに、ステージで「Living Together Concert」を開催しました。

「Tokyo Pride Festival参加報告」

岩橋 恒太

5月のよく晴れたFestival会場では、Festivalを目的に来たひと、代々木公園での他のイベントや原宿・渋谷に行く途中に寄ったひとなど、いろいろな立場のひとにHIVのこと、REAL Living Togetherのメッセージを伝える機会になりました。

ステージでは、Living Together Loungeでパフォーマンスをしてくれたことのある、灯さん、響子さん、Soulit with SEKINEさんを招いて、ライブとHIV陽性者やその周囲の方による手記のリーディングが行われました。いつものLoungeとは違ったお客さんに、Living Togetherのメッセージをお届けすることができたのではないかと思います。出演者による当日の感想はHIVマップで紹介しているので、そちらもぜひ読んでみてください。「HIVマップ Report」(<http://www.hiv-map.net/report/>)

広場では、おそろいの「REAL」Tシャツを着た、ぷれいずやRainbow Ringから参加した30人のスタッフと、会場のお客さんにカートにのせたグッズセットを配布しました。セットには『REAL Living Together』など、これまで作成してきた冊子たちや、この日にあわ



オープニングの一幕



エイズ予防のための戦略研究(MSM首都圏グループ)のブース

せてアップデートしたHIVマップの新紹介カードなどを封入しました。

またブースでは、この他にもComing-Out Flagの展示も行いました。このFlagには、「あなたがHIV陽性だったら? (HIV陽性者の方は経験談をお願いします!)」という仮定で、周囲の人へのカミングアウトを「伝えたい相手」、「迷う相手」、「伝えたくない相手」が誰か、書いて貼ってもらいました。Festivalも終盤になると、それぞれのメッセージや想いが書かれた家型のシールによって、更地だった場所に街がつくりあげられました。このFlagは、将来のパレードで展示したいと考えています。

これらFestivalでの盛りだくさんな内容は、戦略研究で今年度から開始する、エイズ発症予防のためのキャンペーン、「できる!」キャンペーンのkick offとして行いました。キャンペーンの詳細については「HIVマップ」で随時お知らせします。

暑い会場で、汗を流して頑張っているスタッフの姿が印象的でした。では、自分はどうか? 戦略研究が本格的に始まった2007年、初めてパレード会場に行き、その日、パレードを歩かなかったけれど、会場で手伝いすることがたどろけしかつたのを覚えています。あれから2年たって、気づくと今度は、戦略研究のFestival企画のまとめ役として関わりました。あれからずいぶん遠くまで来たのか、頭のなかは未だに整理されないところを見ると、それ程変わってないのかわかりません。けれど、近々発表されるといわれる次のパレードで、次はどんな人たちに会えるか、そしてどんな自分に出会えるか、今から楽しみです。

NLGR (Nagoya Lesbian & Gay Revolution)2009

毎年恒例のNLGR (Nagoya Lesbian & Gay Revolution) が今年も名古屋にて開催されました。

今年のGフレのブースでは昨年企画展「episode from OURDAYS」のポスター展示と各種冊子の配布を行いました。

「NLGR2009に参加して」

やすし

6月6日～7日に名古屋の池田公園で開催された「NLGR2009」に、ぶれいす東京のブーススタッフとして参加してきました。イベントの柱とも言える無料検査会が、今年は医療関係者の新型インフルエンザ対応のため中止になり、人出が心配でしたが、両日とも多くの人が集まりました。

ブースでは展示写真や冊子を紹介しながら、来場者や他団体のスタッフとも話をすることができました。皆さんの関心の高さを感じると共に、ぶれいす東京の発行物やイベントへの全国レベルでの注目度の高さを実感しました。特に印象に残ったのが、手話サークルのブース(体験講座)での教材に、ぶれいす東京も関わった「Ready Go!」が使われていたことでした。メンバーにも好評で、このようなコ

ラボレーションが双方の活動のプレゼンスを高めていくのだと感じた瞬間でした。

前日までの雨が嘘のように、晴れて日差しの強かった2日間。帰り道、会場で配布されていたNLGRのロゴ入りエコバッグやゲイ雑誌の広告が入ったうちわを持った人達が、少し日焼けした顔で、名古屋の繁華街に自然に溶け込んでいました。ちなみに、今年のNLGRのテーマは「絆」。私事ですが、このイベントを機に、僕も久しぶりに実家の家族や古い友人に会うことができ、まさに絆を深めた2日間となりました。



会場の池田公園

部門報告 (2009年4～6月)



ホットライン

エイズ電話相談(ぶれいす東京および東京都委託)

相談実績報告

—ぶれいす東京エイズ電話相談—

	4月	5月	6月
日 数(日)	4	5	4
総 時 間(時間)	16	20	16
相談員数(延べ人)	5.5	6.5	5
相談件数(件)	42	41	35
うち(男性)	36	38	26
(女性)	6	3	9
(不明)	0	0	0
陽性者相談	0	0	0
要確認相談	1	0	0
1日平均(件)	10.5	8.2	8.8

—東京都夜間・休日エイズ電話相談—(委託)

	4月	5月	6月
日 数(日)	12	15	12
総 時 間(時間)	36	45	36
相談員数(延べ人)	31.5	37.5	29
相談件数(件)	223	270	222
うち(男性)	171	219	191
(女性)	51	50	29
(不明)	1	1	2
陽性者相談	1	0	1
要確認相談	1	0	4
1日平均(件)	18.6	18.0	18.5

ホットライン部門・活動状況 ()内は出席人数

4月	19日	スタッフミーティング(16名)
		シンポジウム
		「長期療養時代の治療を考える」(14名)
	21日	活動報告書のデータ検討(2名)
5月	8日	東京都電話相談連絡会(2名)
	17日	世話人会(6名)
		スタッフミーティング(18名)
	29日	記録票改定打合せ(2名)
6月	10日	東京都ボランティア講習会
		「クリニックにおけるHIV診療と歯科診療」(3名)
	12日	記録票改定及びプロジェクトの打合せ(2名)
	19日	東京都電話相談連絡会(3名)
	21日	世話人会(6名)
		スタッフミーティング(17名)

今回から、ここ数年増えている「要確認」の相談件数の項目を新たに追加しました。スクリーニング検査(特に迅速)で判定保留となった方からの相談です。この3ヶ月でのトピックは、GW前に世間の注目が集まった新型インフルエンザのことです。その影響からか相談件数が低調でした。日常的に何かしら不安を抱えているクライアントからの相談がある程度含まれるのですが、減少した印象があります。新年度になりスタッフ一同、一步一步邁進していきます。(報告:佐藤)



バディ

陽性者のための直接ケア・派遣プログラム

バディ担当者ミーティング参加スタッフ数

(第1木曜 11:00～、第3木曜 18:30～ ※5月は第1土曜日の午前中に開催)

4/2	中止	4/16	5人
5/2	4人	5/21	6人
6/4	中止	6/18	7人

※ 個別のミーティング (4月～6月) 7件

利用者数

13カ所の病院に通院中、もしくは入院中の22名の方へのべ27名のバディスタッフを派遣

活動内容 (2009年6月末現在)

派遣継続中	22件
在宅訪問	13件
病室訪問	2件
在宅の電話のみ	1件
派遣休止	4件
担当調整中	2件

新規派遣相談(4～6月)	2件
医療従事者の紹介	2件

4月～6月の派遣調整	13件
------------	-----

今後のミーティングの日程

午前ミーティング 11:00～13:00

8/6(木) 9/5(土) 10/1(木)

午後ミーティング 18:30～20:30

8/20(木) 9/17(木) 10/15(木)

※土曜日の午前ミーティングを2ヶ月に1回、奇数月の第1土曜日に開催しています。平日のミーティングに参加できない方はぜひご参加下さい。

バディの現場から

4月以降も比較的依頼や再調整が多く、バタバタしていましたが、ようやく落ち着いてきた感じです。新規の派遣依頼が2件あり、両方とも医療従事者の紹介となっていました。1件は検討中で、1件は既に担当も決まり、訪問が始まっています。訪問中のケースでは、家事援助や買物、入院中の支援での依頼となっています。

また、報告が遅くなりましたが、活動報告書が無事完成し、昨年度1年間のバディの活動をまとめてあります。ぜひ、みなさんご一読下さい。バディ部門の年度のまとめにあたりそれぞれの報告を見直し、この活動はバディ・スタッフひとりひとりの活動がなければ、成り立たないことを改めて感じました。バディの皆様、いつも忙しい中での活動ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

基本的にクライアントの自宅や病院での活動になるため、他のスタッフと情報を交換したり、活動する上での悩み等、共有する機会がないと思います。ケースをお持ちの方は、バディ・ミーティングにできるだけ定期的に参加いただき他のスタッフと情報交換をしたり、コーディネーターとの個別ミーティングを持っていいただければと思います。よろしくお願いします。

(報告：牧原)



ネスト

陽性者とパートナー・家族のためのスペースとプログラム

ネスト利用状況

	オープン日数	延べ利用者数	(うち新規)	(*ファシリテーターなど)
4月	25日	193名	(13名)	(7名)
5月	22日	218名	(5名)	(15名)
6月	26日	198名	(7名)	(5名)

(*はファシリテーター、web NEST運営委員、お茶会、講習会などの企画・運営などの役割を担っているネスト利用者)

カフェ・ネスト

4月：4回	55名	5月：3回	48名
6月：4回	66名		

ピア・グループ・ミーティング (PGM)

- ・新陽性者PGM第46期 (参加者5名)
4/2 4/16 4/30 (修了)
- ・新陽性者PGM第47期 (参加者7名)
5/16 6/6 6/20
- ・陰性パートナー・ミーティング 5/9 (3名)
- ・ミドル・ミーティング
4/11 (13名) 5/9 (15名) 6/13 (11名)

学習会/イベント

- ・公開シンポジウム「長期療養時代の治療を考える」
4/19 (日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス/ぶれいす東京共催)
スピーカー：井上洋士さん (放送大学)、小田原隆さん (東京大学医科学研究所)、岡本学さん (大阪医療センター)、HIV陽性者3名
- ・ネスト庵「初風炉の茶会」
5/2 (参加者12、ご亭主2)
- ・“専門家と話そう”シリーズ
第5回「クリニックのドクターと話そう」
ゲスト：山中晃さん (新宿東口クリニック院長)
5/15 (参加者15名)
- ・ストレスとうまくつきあうためのワーク第9期
5/29 (8名) 6/28 (8名)

ミーティング (陽性者メンバー、ぶれいす東京スタッフほか)

- ・新陽性者PGMファシリテーター・ミーティング
5/8 (6、6)
- ・web NEST運営委員会
4/24 (3、2) 5/22 (3、2) 6/26 (3、2)
- ・ネスト世話人会
4/23 (1、3)

ネスト・ニュースレター

4/3	4月号発行	5/7	5月号発行
6/15	6月号発行		

“専門家と話そう”シリーズ「クリニックのドクターと話そう」

“専門家と話そう”シリーズは、HIV をとりまくさまざまな専門家を招いておこなう定員制の少人数のミーティングです。第3回から「ねぎし内科診療所」、「しらかば診療所」、今回の「新宿東口クリニック」と、首都圏でHIVの

診療をするクリニックのドクターをゲストに迎えて開催しました。それぞれのクリニックの特徴や持ち味、クリニックに共通のことなどがわかり、とても興味深く、また、クリニックと拠点病院をどう利用していくのかを考えると参考になったのではないかと思います。今後もさまざまな専門家をゲストにお迎えしていく予定です。どうぞご期待ください。

(報告：はらだ)

Gay Friends for AIDS

ゲイによるゲイ・コミュニティ向け活動 <http://gf.ptokyo.com>

Gay Friends for AIDS 電話相談

4月	7件	(1日平均1.75件)
5月	14件	(1日平均2.80件)
6月	14件	(1日平均3.50件)

聴覚障がい者向けのメール相談対応

4月	1件
5月	2件
6月	0件

TOKYO FMコラボイベント第4弾

6月13日に開催された、4回目となる TOKYO FM のイベントの様子がポッドキャストで聴けるようになりました。こちらのサイトをご参照ください。

<http://www.tfm.co.jp/podcasts/premium/>

Tokyo Pride Festival & NLGR

夏に開催されていた東京プライドパレードですが、今年はパレードの行進はなく、代々木公園のステージ周辺での野外イベント、Tokyo Pride Festival として5月23日に開催されました。REAL Living Together のブーススタッフとしてGフレメンバーも参加しました。その2週間後には前号でもお伝えしたNLGRで名古屋に上陸。どちらのイベントも天候にも恵まれ、多くの方にブースにお越しいただきました。来場者の皆様、また各イベントの関係者の皆様に改めまして御礼申し上げます。2つのイベントの様子は7～8ページのレポートをご覧ください。

(報告：sakura)

HIV陽性者への相談サービス

相談実績 2009年4～6月

2009年	4月	5月	6月
電話による相談	66	78	127
対面による相談	51	51	41
E-mail による相談等	79	104	173
うち新規相談	24	15	30

※メール新規は含まず

4～6月の新規相談者の属性 (N=69)

陽性者：	47人	(男性： 44	女性： 3)
パートナー(元)：	10人	(男性： 5	女性： 5)
家族：	6人	(男性： 3	女性： 3)
その他：	6人	(男性： 4	女性： 2)
専門家：	0人	(男性： 0	女性： 0)

4～6月新規相談者の情報源 (N=69)

WEB (携帯含)	24件	友人	2件
陽性者	5件	パートナー	2件
看護師	4件	以前から知っていた	2件
パンフレット等 (含む戦略 MSM 首都圏 冊子)	4件	電話相談	2件
家族	3件	行政	1件
保健所 / 検査所	2件	カウンセラー	1件
医師	2件	G フレメール	1件
病院	2件	NPO	1件
都電話相談	2件	不明	9件

4～6月新規相談の内容 (N=69)

【ミーティング/ネスト利用等】

- ・PGMインテーク&オリエンテーション。(8件)
- ・陰性パートナーミーティングへの問い合わせ。
- ・HIV陽性者がパートナーとともに来所。地元で他の陽性者と知り合うのが困難。
- ・去年の夏に感染判明。ミドルミーティング参加希望。
- ・陽性と判明してから数ヶ月経過。ストレス・マネジメント希望。
- ・母親が陽性の息子と来所。もめんの会参加希望。

【ぶれいす東京への参加、サービス利用】

- ・ぶれいすのサービス内容を知りたい。(2件)
- ・知り合いの陽性者にぶれいすを紹介された。(2件)
- ・女性陽性者。同じ病気の友人もいないし、誰にも言えないため相談。
- ・他の陽性者と会ってみたいと思い連絡。(2件)
- ・何かあったとき、話しやすい人が欲しくて、連絡をした。
- ・一昨日感染が判明。情報を増やそうと思っている。
- ・自分はゲイの(+)。感染不安に関する相談情報を知りたい。

【検査や告知】

- ・体調不良で近医を受診。ゲイと表明し、実施された検査で陽性と判明。
- ・妊娠時の検査で陽性。確認検査中。子どもがいる。
- ・コンジローマ治療のため通院した病院で受検。迅速では陰性、外注の検査で陽性がでた。
- ・他疾患で入院し、退院後に陽性と結果が出たが、本人よりも先に家族に知らされた。
- ・バイセクシャルの既婚者。妻の他に二人パートナーがいる。妻には告知できないでいる。
- ・職場で受けたスクリーニング検査で陽性。確認検査はどこで受けられるか？(2件)

【人間関係】

- ・友達の陽性者が、SEX後に感染を伝えたら訴えてやると言われたらしい。
- ・SEXの後で相手から陽性だと知らされた。感染が不安。
- ・娘から。母の陽性が判明した。彼女への不信感がでてきた。
- ・最近、パートナーの感染が判明。来週会う予定、気持ちの準備ができていない。
- ・女性。パートナーから陽性を知らされた。相手の支えにもなりたいたが自分の身体も心配。
- ・最近、献血して陽性と判明。自分のことを伝えたら SNS から抜けた人がいて、複雑。
- ・パートナーの感染判明は数年前だが、最近結婚を急いでいるのが不安。自分の知識が得られる場所が欲しい。

- ・SEXのことについて聞きたい。どのような行為であれば大丈夫なものか。

【心理的なこと】

- ・今日から服薬開始で、急に不安になり相談。2年前から、拠点の大学病院に通院中。
- ・感染判明は4月。未だに状況をうまく消化できない。

【医療など】

- ・父、母から。娘（息子）の感染が判明。入院費のことが心配。体調もあまりよくない。（2件）
- ・父から。息子の感染が大学病院で発覚し、経験の多い公立病院に転院。病状説明に困惑。
- ・半年前に保健所で受検し陽性と判明。Dr.以外の情報ルートを増やそうと思い連絡。
- ・頭痛がひどく、身体がだるい。どうせ治らないし、病院に行くのが怖い。
- ・本日告知を受けた。一般病院に紹介状を書いてもらっているが拠点病院ではないため心配。
- ・拠点病院の医師から「寿命は10年保証されない」「服薬しても2割は死ぬ」と言われた。保健所から言われた安心感から突き落とされた。
- ・妻より。最近、夫が陽性だとわかった。数年前の出産時は（一）だった。子どもへの感染は大丈夫だろうか？
- ・きょうだい、母より。家族が脳症で寝たきり状態。半年以上経つが病状に変化はない。他の人がどうしているかを知りたい。
- ・3年前に陽性判明。通院先を何度か変更している。どこか病院はないか。

【生活や福祉】

- ・親から。子どもが陽性者。薬物使用があり、職務質問をうけて拘留中。体調が心配。
- ・退職をし傷病手当で生活中。
- ・献血で感染が判明。通知はきょうだいとパートナーのみ。
- ・陽性判明から少し経過している。今回、生命保険加入を検討中。
- ・悪性リンパ腫で、腫瘍ができて入院中。抗ガン剤治療のために副作用や医療費が大変。
- ・海外赴任をするにあたり陰性証明が必要。出さなければどうなるだろうか。
- ・感染は10年前で現在服薬中。小さな街に移るため国保への変更や身障手帳のことが心配。
- ・パートナーも自分も陽性。自分はオーバーステイのため相談しにくい。医療費が心配。
- ・保健所で友人と受けに行った検査で陽性だった。医療費など今後のことが心配。

【就労】

- ・肺炎発症で入院中。先週から服薬開始。就労希望だが生活は不安定。
- ・ネットを見て連絡。2年前に感染。主に就労に関する相談。
- ・パートナー（女性）のことで相談。本人は体調不良だが仕事の継続を希望。
- ・最近、トキソプラズマ脳症で入院中。今後、仕事をするか迷っている。
- ・最近になって就労を検討している。プライバシーが職場に伝わらないかと不安。（2件）

（報告：牧原/福原/生島/神原）



研究部門

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）

「地域における HIV陽性者等支援のための研究」

（研究代表：生島 嗣）

- ・研究班初年度の研究成果などをまとめた平成20年度総括・分担研究報告書を発行しました。また、平成21年度より研究分担者に新たに山本博之さん（東京福祉大学）を迎えて、2年次の研究をスタートしています。
- ・支援者向けのツールとして、英国The National AIDS Trust (NAT)が制作した冊子『The needs of people living with HIV in the UK: a guide』の日本語訳『イギリスに住む HIV陽性者のニーズ』を発行しました。
- ・研究班が運営するポータルサイト「地域における HIV陽性者等支援のためのウェブサイト」(<http://www.chiiki-shien.jp/>)では、上記研究報告書・冊子のPDF版などを公開している他、HIV陽性者とその周囲の人の支援に役立ててもらえるようコンテンツを拡充しています。

（報告：大槻）

エイズ予防のための戦略研究（研究リーダー：市川誠一）

MSM首都圏グループ

- ・2009年度以降のアクションの主軸として、エイズ発症予防に関する「できる！」キャンペーンを企画し、ロゴが完成しています。キャンペーン第1弾として、「HIV陽性者・その周囲の人たちの経験談募集」ページを7月中旬よりオープン。（詳細はHIVマップで広報中。）
- ・音楽イベントPrelude (7/18)にて、今年度もパンフレット作成と配布の協力、および携帯電話アンケートを実施しました。
- ・「あんしん HIV検査サーチ」のmobile版、HIVマップmobile内に作成しています。8月上旬公開予定。また、千葉県では8月に臨時検査に協力、9月に保健師向け研修を予定しています。東京・神奈川についても開催予定です。
- ・AIDS文化フォーラムin横浜 (8/7)にて本グループの活動を紹介する講座を開催。

（報告：岩橋）

MSM京阪神グループ

「陽性者サポートプロジェクト関西(POSP)」

1. 陽性者サポートライン関西
 - ・「告知後まもない」だったが、「時期を限定せず」に変更。今後、広報に反映していく。
 - ・電話相談実績：4月：3件、5月：3件、6月：1件
2. 地域のカンファレンス
 - 8月20日に「chot CAST なんば」を会場に、京阪地区の保健師等の行政職員、医療機関職員、地域支援者向けのカンファレンスを開催。演者は、大阪府、大阪市、サポートプロジェクト等の予定。また、名刺交換会など交流の場も予定している。
3. ひよっこクラブ～新陽性者ミーティング in 関西～
 - ・8月末に開始。参加者募集中。
4. その他

10月11日(日)PLUS+にブース出展、スピーチの予定。

（報告：生島）

新人ボランティア合同研修 ～ オリエンテーションのご案内 ～

特定非営利活動法人ぷれいす東京は、HIV/AIDSのケアと予防に取り組む団体です。HIV感染の広がりにとまどい、HIV陽性だとわかった人、感染していないか不安な人、HIV/AIDSのことについて知りたい人など、ぷれいす東京が提供するサービスを必要とする人も増えていますが、対応にあたってスタッフが慢性的に不足しています。

HIV/AIDSに関わるボランティアを、自分のできる範囲で、できることから、私たちと一緒に活動をしてみませんか？今回は下記のボランティアを募集しています。

- ・ HIV陽性者のサポート活動 「バディ」
- ・ エイズ電話相談の相談活動 「ホットライン」
- ・ ゲイ向け予防啓発活動 「Gay Friends for AIDS」
- ・ 大人の女性向けのピアエンパワメントプログラム
- ・ 事務作業補助、他

◆ オリエンテーション ◆

【日 時】

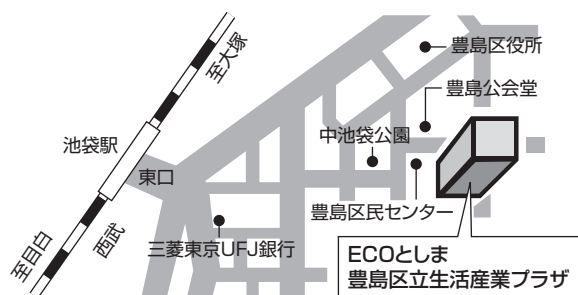
2009年9月13日(日)14:00～17:00

(受付は13:45開始です)

※参加希望の方は、あらかじめメールか電話でご連絡ください。

【会 場】

豊島区立生活産業プラザ「ECO としま」多目的ホール(8F)
東京都豊島区東池袋1-20-15 (池袋駅東口より徒歩7分)



【当日のお問い合わせ先】

ぷれいす東京携帯電話：090-9152-0918 (昼12:00～)
※電話番号が2008年3月より変更になりました。

性別、年齢、セクシュアリティ、HIV/AIDSの知識や活動参加の経験の有無などは問いません。興味のある方は、どなたでもオリエンテーションに参加できます。

活動に参加する／しないは、オリエンテーション終了後に決めていただいてもかまいません。

ただし、ボランティア・スタッフとして活動を希望される方は、その後に行われる3日間の基礎研修を受講し、修了後必ず1年間は活動に参加できる方とさせていただきます。

研修では、多彩な講師陣の個性的な講義やワークショップを受講できます。ご期待ください。

◇ 研修について ◇

9月21日(月・祝)

9月22日(火・祝)

9月27日(日) (各日10～17時の予定)

※研修内容や場所等の詳細については、オリエンテーションで説明します。

※研修に参加したいがオリエンテーションは都合がつかない、また全日程への参加は難しいが活動したい、という方はご相談ください。



2008年の研修会でのひとこま

オリエンテーション・研修に関する お問い合わせ

特定非営利活動法人 ぷれいす東京
〒169-0075
東京都新宿区高田馬場4-22-46 ザ・テラス204
TEL 03-3361-8964 FAX 03-3361-8835
(受付時間 平日12:00～19:00)
E-mail info@ptokyo.com (担当 牧原)
URL: http://www.ptokyo.com

編集後記

- ・ 梅酒といっしょに作った梅シロップ。暑い季節は酸味がおいしくて毎日飲んでます。来年はもっとたくさん作ろうと思う…。(こんどう)
- ・ ぷれいす東京のwebがリニューアル直後に開催されたLiving Together Loungeにて、数人の方から「サイト、リニューアルしたんですね」と声をかけられた。まさに、サイトは顔なのだ。関わったスタッフの皆様、お疲れさま。(いくしま)
- ・ Newsletterのデザインが変わりました！ぷれいす東京の新しいロゴにあわせて、やさしい感じのイメージになったかと思いますが、いかがでしょう？(やじま)

編集・発行：特定非営利活動法人 ぷれいす東京

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-22-46 ザ・テラス204
TEL: 03-3361-8964 (月～金 12:00～19:00)
FAX: 03-3361-8835
E-mail: info@ptokyo.com
ぷれいす東京HP: http://www.ptokyo.com/
Gay Friends for AIDS: http://gf.ptokyo.com/
web NEST: http://web-nest.ptokyo.com/